営農だより　2022年1月号　ＪＡいがふるさと

◎取り組もう! 土づくり!

土壌改良材を施用していない…、雨で散布できなかった…
面倒くさいと施用をあきらめていませんか?
土壌改良材や大山田コンポを施用し、散布後に鋤込をする事で地力を向上させることができます。是非晴れの日に土改材の施用及び鋤込をしてください。

① 健康な稲作りでおいしい「伊賀米」を生産するため、積極的に大山田コンポ等の有機物と土壌改良材の施用に努めましょう
② 葉と茎を丈夫にし、根にも活力を与え、高品質・良食味米生産に役立つ土づくり肥料の施用に努めましょう
③ 多年生雑草の茎魂や球根を冷気にさらして凍死させ、除草効果が上がり、砕土、代かき作業を容易にします。
④ 栄養分を豊富に吸収できるよう「深耕」に努めましょう（目標15cm）

大山田コンポ奨励措置

ＪＡでは大山田コンポを予約注文頂き、栽培基準に基づく施用を頂いた方を対象に2022年3月に奨励措置を実施させて頂きます。

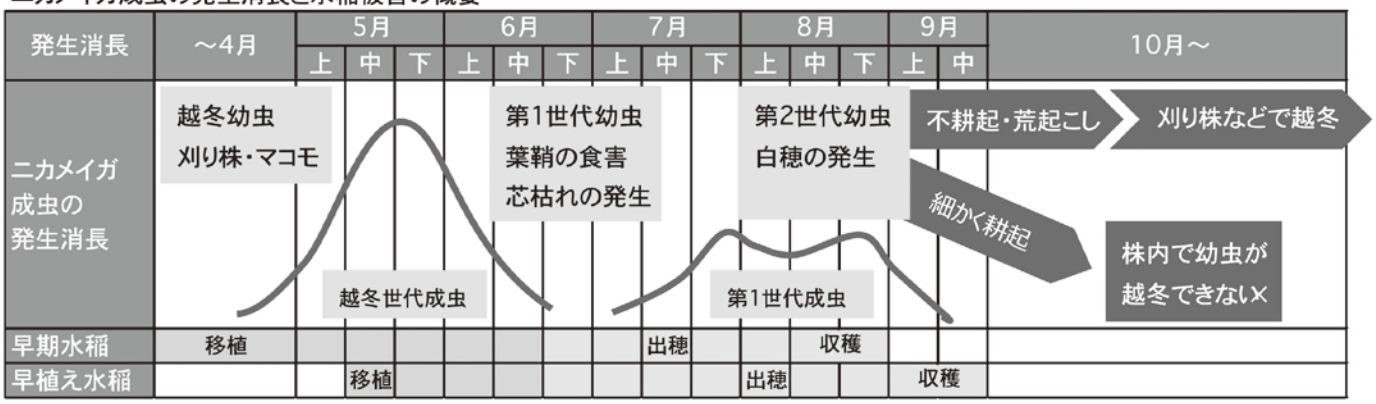
奨励金額　2,000円／10ａ（大山田コンポ 525L）

※グリーンショップ特売期間中の大山田コンポ購入については奨励対象外となります

◎水稲種子・肥料農薬のご注文はお済みですか?

令和4年度用水稲種子予約申込と令和4年度用水稲肥料農薬予約申込がまだの方は最寄りの支店・グリーンショップへ申込みをお願いします。

■「ニカメイガ」の耕うんによる防除について　(三重県農業研究所提供資料より)

・ニカメイガによる被害は作期の遅い水稲で多い傾向があります。
・ニカメイガの生活環については、老齢幼虫が水稲の稲わらや刈り株、周辺のマコモで越冬し、翌年の発生源になります。(下図)
・作期の遅い水稲の増加、ヒコバエの設置、雑草の繋茂によって、ニカメイガの生活環がつながり、これらの被害増加に至ったと予想されます。
・秋冬季に圃場の耕うんを丁寧に行って成虫越冬を低減させることが重要です。

ニカメイガ成虫の発生消長と水稲被害の概要